



# 上山小学校「風のたより」

令和6年7月23日（火） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、  
自らの未来を切り拓く児童を育成する



## ココロオドル体験を！

完全なる健康体の方はおそらくこの世にはいらっしゃらないと思います。病とは言えないのかもしれませんが、私は視力が弱く、高校生の時からコンタクトレンズを装着しています。涙の中にタンパク質が多いので、「ワンデイ」のものを使用しています。昨日は、左右のレンズをお昼まで反対に装着しておりました。職員会議の意見がさえないのはこのせいなのか定かではありませんが、やや夏バテのようです。



さて、あるコラムに次のような投稿がありました。94歳のおばあちゃんの発言です。「長く生きてるとね、結局、思い出せることなんか、本当に心がトキめいた瞬間や心から感動した瞬間だけなの。時間は限られているのよ。忙しい日々を惰性で生きてないかしら？挑戦しなさい。感動しなさい。あなたには後、何回心躍る瞬間が訪れるかしら？」。私はとても深い言葉だと受け止めました。おそらくこの方は、これからも心躍る瞬間を求めて生きていかれるのだらうと思いました。子供たちも、私たちも、皆さんも共にココロオドル体験を！

たもと

金子みすゞ

袂のゆかたは

うれしいな

よそ行きみたいなのがするよ。

夕顔の

花の明るい背戸へ出て

そっと踊りの真似をする。

とんと、叩いて手を入れて

誰か来たか、と、ちよいと見る。

藍の匂の新しい

ゆかたの袂は

うれしいな。



## 1学期を終えて保護者面談実施中！

スマホのニュースを見ていると、長崎県のほとんどの学校で1学期の終業式が行われたことを伝えていました。ニュースに加えられていたことは、「近年、教員が子供と関わる時間を増やすため、通知表を渡す回数を2回に減らし、1学期は渡していない」学校が増えていることでした。日頃の学校生活の様子は保護者面談や学級通信などで伝えている



とのこと。上山小学校では、1学期終業式に各教科の観点別の評価を「あゆみ」としてお渡しし、生活の様子なども含めて保護者面談で膝を交えてお伝えするようにしています。通知表の発行は「保護者に対して子どもの学習指導の状況を連絡し、家庭の理解や協力を求める目的で作成。法的な根拠はなし」とされており、校長に委ねられています。極端にいうと必ず発行しなければならないというものではありません。しかし、私見ですが子供のモチベーションや保護者との面談の素材としては必須であろうと考えます。これも「揺るがぬものの変化」だととらえるのではなく、子供を真ん中に据えて熟議しなければならない課題であると思っています。ご意見お待ちしております。

## スタミナつけましょう！

いやいや今日の気温は33℃でした。梅雨が明けて湿度はやや低くなった気がします、酷暑の幕開けです。夏は開放的で大好きなのですが、動きすぎて夏バテしがちです。皆様、ご体調はいかがでしょう。こんな時には鰻の蒲焼なんかガツリいただきたいものです。7月24日と8月5日は土用の丑の日だそうです。最近、鰻の蒲焼を注文すると「鰻蒲焼定食3切れ！二人前」と大きな声で注文されるので、それはやめてほしいなあ



と思っています。給食のない夏休み、本日は牛丼大盛りお新香付き(\*^\*)

☆上山小のHPもご覧ください。学校だより(表)の2次元コードをご利用ください。